

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年7月27日(2020.7.27)

【公開番号】特開2018-2710(P2018-2710A)

【公開日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-001

【出願番号】特願2017-118740(P2017-118740)

【国際特許分類】

C 07 D 405/10 (2006.01)

H 01 L 27/32 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

G 09 F 9/30 (2006.01)

C 09 K 11/06 (2006.01)

【F I】

C 07 D 405/10 C S P

H 01 L 27/32

H 05 B 33/14 B

H 05 B 33/22 B

H 05 B 33/22 D

G 09 F 9/30 3 6 5

C 09 K 11/06 6 5 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月8日(2020.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

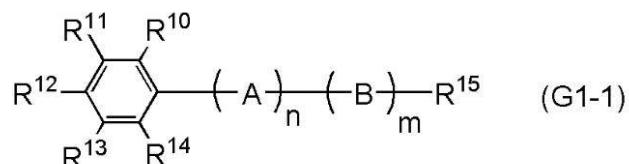
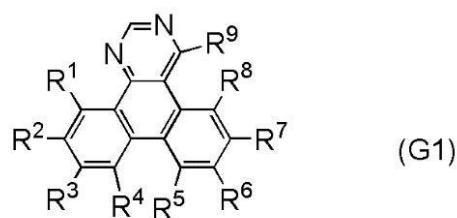
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(G1)で表される有機化合物。

【化1】

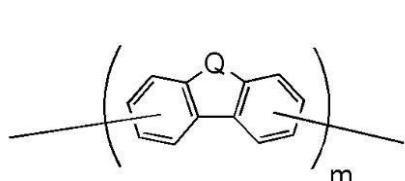


(式中、R¹ ~ R¹⁵ のうち、R¹ ~ R⁹ のいずれか一は、式 (G1-1) 中の R¹⁰ ~ R¹⁴ のいずれか一と結合し、その他はそれぞれ独立に、水素、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 6 のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数 5 ~ 7 のシクロアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数 6 ~ 13 のアリール基、のいずれかを表す。なお、n は、0 ~ 3 のいずれかを表し、m は、1 または 2 を表す。A は、単結合、または置換もしくは無置換の炭素数 6 ~ 13 のアリーレン基を表し、B は、置換もしくは無置換のジベンゾフラン骨格を有する環状構造、置換もしくは無置換のジベンゾチオフェン骨格を有する環状構造、または置換もしくは無置換のカルバゾール骨格を有する環状構造を表す。)

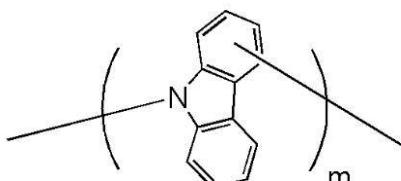
【請求項2】

請求項1において、
前記式 (G1-1) 中の B は、下記式 (B1) 乃至式 (B4) のいずれか一である有機化合物。

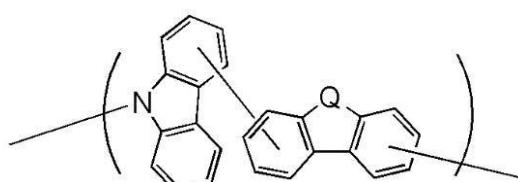
【化2】



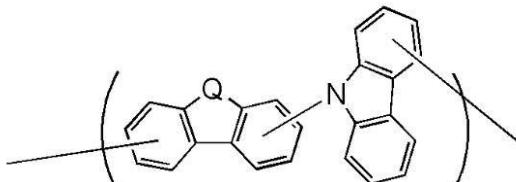
(B1)



(B2)



(B3)



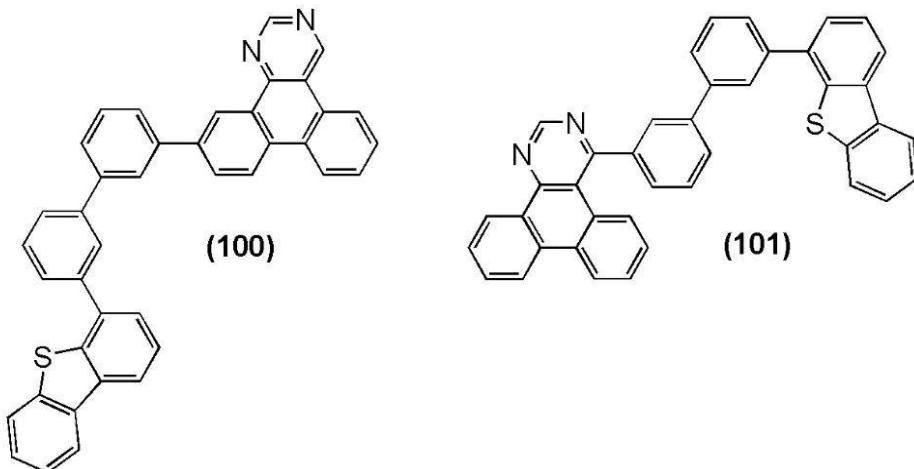
(B4)

(式中、mは、1または2を表す。また、Qは、S、N-R^{1~6}、Oのいずれかであり、R^{1~6}は、水素、置換もしくは無置換のフェニル基、のいずれかを表す。また、式(B1)~(B4)中のベンゼン環は置換基を有していても良く、前記置換基は、置換もしくは無置換の炭素数1~6のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数5~7のシクロアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数6~13のアリール基、のいずれかである。)

【請求項3】

式(100)または式(101)で表される有機化合物。

【化3】



【請求項4】

請求項1乃至請求項3のいずれか一項に記載の有機化合物を用いた発光素子。

【請求項5】

請求項4に記載の発光素子と、トランジスタまたは基板のいずれか一と、を有する発光装置。

【請求項6】

請求項4に記載の発光素子と、接続端子、または、操作キーと、を有する電子機器。

【請求項7】

請求項5に記載の発光装置と、マイク、カメラ、操作用ボタン、外部接続部、または、スピーカのいずれか一と、を有する電子機器。

【請求項8】

請求項5に記載の発光装置と、

筐体、カバー、または、支持台のいずれか一と、を有する照明装置。